

# 1. 生活の関心事

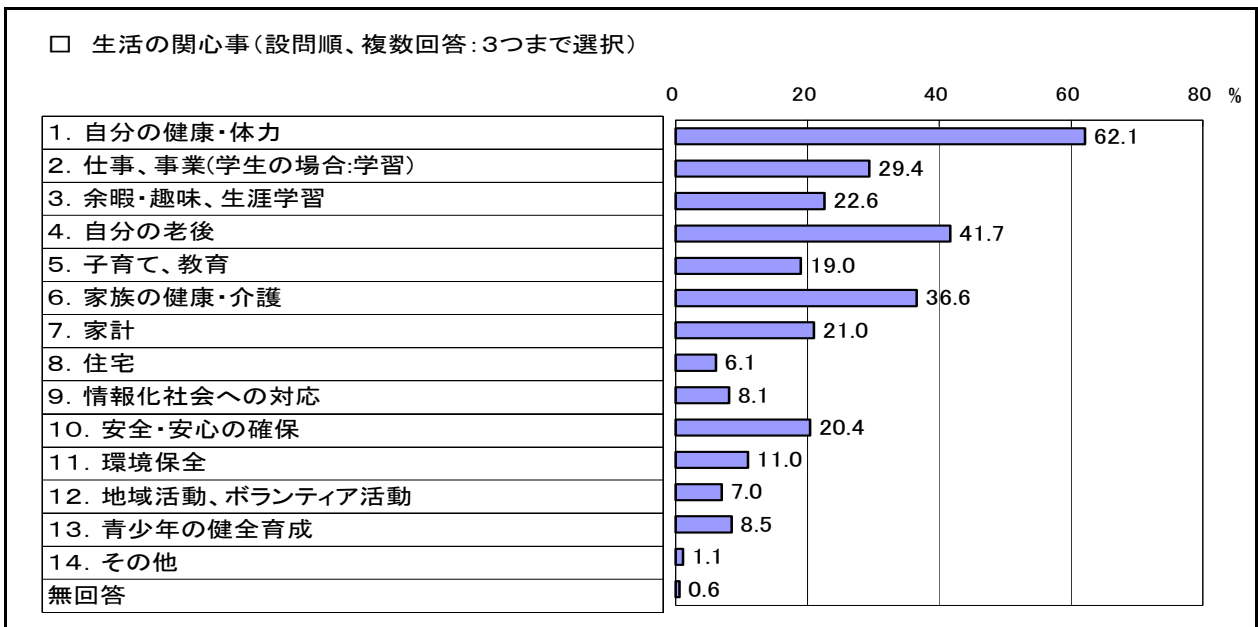
県民ニーズの方向性を把握するため、県民の最近の生活の関心事を確認したものである。

全体でみると、「自分の健康・体力」を選択した割合が62.1%と最も高く、次いで「自分の老後」(41.7%)、「家族の健康・介護」(36.6%)となっており、自分・家族の健康や将来の生活設計についての関心度合いが高い。

男女別では、「仕事・事業」を選択した男性が39.3%と、女性の20.0%を大きく上回っている。一方、女性では「自分の老後」「家族の健康・介護」「家計」が男性を上回っている。

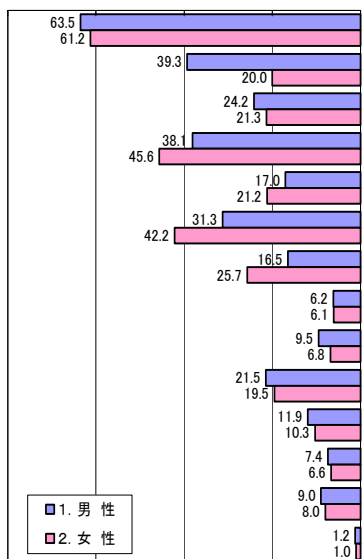
年代別では、20～30歳代で「仕事・事業」「子育て、教育」「余暇・趣味、生涯学習」が、60歳代以上で「自分の健康・体力」「自分の老後」「家族の健康・介護」を選択した割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっている。

職業別では、その職業を構成する性別や年齢等の状況による差が見られた。  
地域別、県外居住経験別では、明らかな差はない。



■ 性別

% 80 60 40 20 0



■ 年代別

0 20 40 60 80 %

